（別紙4（2））

事業所名　グループホーム　オリーブ

目標達成計画書

作 成 日:　平成　30　年　2　月　23　日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	参加委員が固定化し、意見や要望、質問等を提案する委員も決まっている。会議の内容が画一化傾向にあるので、会議の内容や議題、参加委員の増員等を検討して行く。また、年に1回は家族が参加しやすい日程に合わせて会議を開催していく。	複数の民生委員、歯科医師、公民館館長、元家族、有識者や知見者、他グループホームの管理者等に参加を要請し、専門性を活かした勉強会を行なったり、レクリエーションや避難訓練に参加してもらう等、参加する事で知識や情報を得られるよう、内容に関しても工夫していく。	12ヶ月
2	37	災害対策	年に2回、自主防災組織による避難訓練を行っているが、夜間、夜勤者2人で18名の利用者を避難誘導させることの難しさを実感し、避難訓練の目標タイムを設定して繰り返し訓練する等、夜勤者が自信を持って夜勤出来る体制を整えていく。	年に1回は消防署の協力と指導を得て、防災訓練を実施し、2階の利用者9名が安全に避難出来るよう、何度も訓練を繰り返し、職員が素早く冷静に対応できる体制を整えていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。